

最近の活動報告及び今後の方針

平成23年7月5日

日ASEAN官民協議会事務局

日・ASEAN情報通信大臣会合(本年1月)の結果

【1. 会合概要】

ASEANのICT関係首脳が一同に会するASEAN情報通信大臣会合の開催に併せて、日本(ASEANの対話国)とASEAN間でも大臣会合を開催。ICT分野の取組について意見交換を行い、今後のASEANとの協力関係の強化を図るもの。

(平成16年より毎年開催)

【2. 日程等】

平成23年1月13日(木)16:15~17:00

於:マレーシア(クアラルンプール)

出席者:日本(片山大臣)及びASEAN10か国の情報通信大臣級



【3. 大臣会合の結果概要】

(1) 片山総務大臣とマレーシアのライス情報通信文化大臣(議長)が共同議長を務め、ASEAN各国の出席者と情報通信分野の取組について意見交換を実施。

(2) 今後1年間の日本とASEANとの間の情報通信分野における協力施策を包含する「日・ASEANの情報通信分野における作業計画2011」及び域内における安心安全なネットワーク環境構築に向けた「情報セキュリティ分野における日・ASEANの連携枠組み」が承認。その他、昨年に引き続き、ASEAN ICT基金への拠出を表明。

(3) 作業計画の概要

- ・ ASEAN地域のインフラ整備
- ・ 先進的なICT利活用方法の提案
- ・ 制度面での提言
- ・ 情報セキュリティに関する国際連携の推進
- ・ 人材育成

参考: ASEAN(東南アジア諸国連合、Association of South East Asian Nations)

ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムの10か国による地域協力機構。域内における経済成長、社会・文化的発展の促進、地域における政治・経済的安定の確保等を目的とする。

ベトナムICT官民ミッションの結果(3月)

関係先訪問

■日時: 3月10日(木) 10:00~18:00

■訪問先: VNPTの他、分野ごとに別れて訪問

電子行政: 税務当局

防災: 農村開発省、天然資源省

センサーNW: 科学技術庁、天然資源省

ITS: 交通運輸省、ハノイ市役所

■参加者:

(ベトナム政府・企業)

各省庁の長官、副大臣等政府高官、企業幹部

(日本政府・団体)

総務省(山川総務審議官他)、早稲田大学浦野教授、

NiCT、YRP、ITS Japan、中日本高速道路株式会社

(日本民間企業)

NTTコミュニケーションズ、NTTデータ、NTTドコモ、住友商事、住友電気工業、東芝、日本電気、日本無線、日本ユニシス、野村総合研究所、パナソニック、パナソニックシステムネットワークス、日立製作所、フジテレビ、富士通、みずほコーポレート銀行、三菱総合研究所、三菱重工、三菱電機

■概要:

✓ 日本側からのプレゼンテーションの後、意見交換を実施

✓ ベトナム側から様々な意見・質問があり、日本のICT利活用に関する関心の高さが伺われた



今後の展開スケジュールとASEANへの提案

今後の展開スケジュール

■ 短期的対応(1~2年)


- 分野ごとに関係企業等が連携し、総務省や関係府省等が必要に応じて活動を支援する国内連携体制を構築。
- 重点対象国を選定し、当該国のニーズを精査しつつ、先行的な取組(フィージビリティスタディや小規模な実証実験等)を早急に実施
- 成果を国際会議等の場を活用し、第三国に対してもアピールするとともに、ASEAN全体の計画に適宜インプット

■ 中長期的対応(3~5年)

- ・ 当該国における早期実システム化を目指すとともに、ASEAN全体への具体的な働きかけを加速

ASEANへの提案

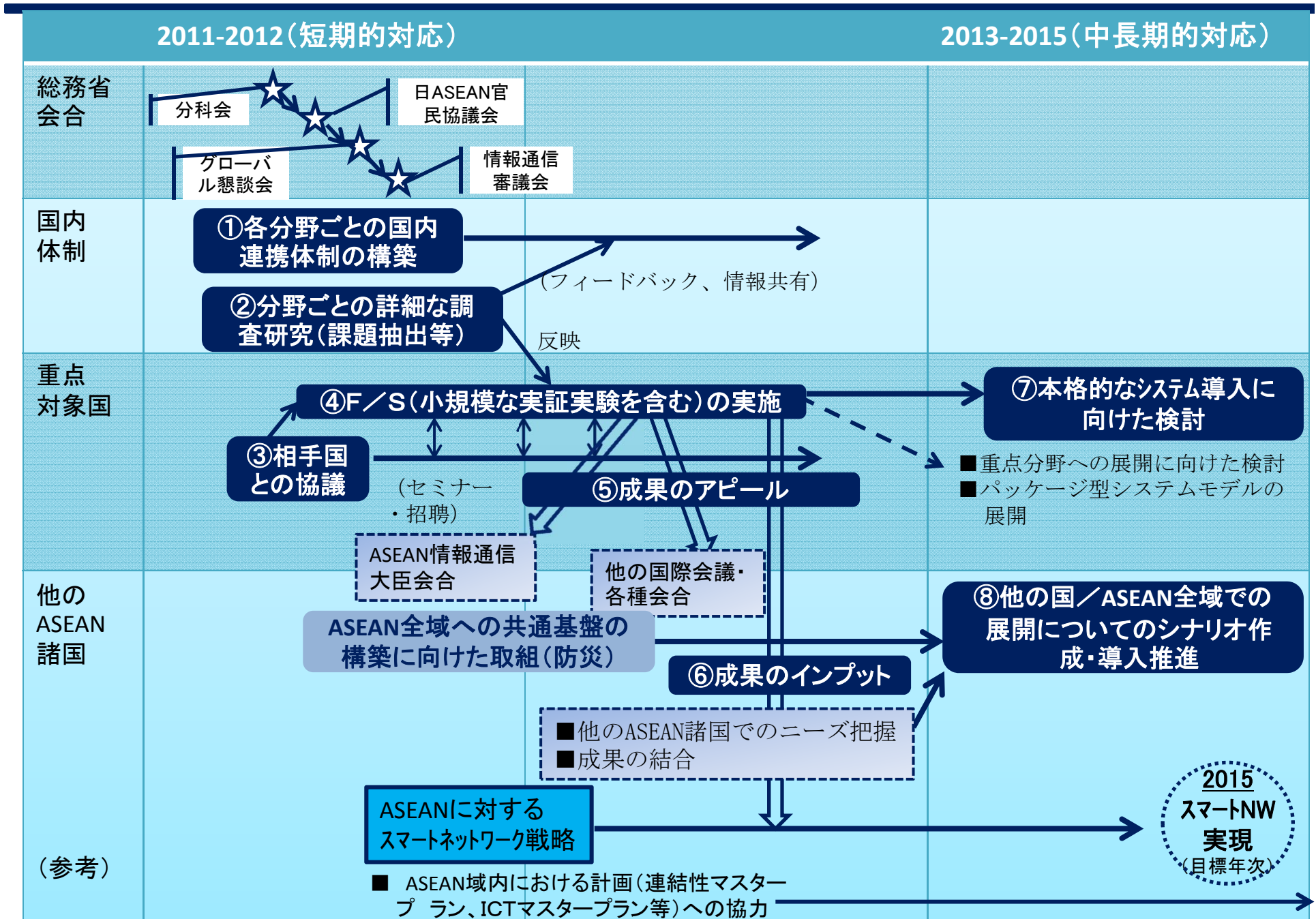
- 我が国よりASEAN諸国に対し、2015年を目標年次として、高速かつ多機能なICTインフラを用いて人と人、モノとモノをつなぎ、様々なICT利活用／ユビキタス環境の実現を目指す構想(ASEANスマートネットワーク構想(仮))を提案。

 経済の活性化、社会的課題の解決、コネクティビティ強化へ寄与するとともに、我が国ICTの普及にも裨益することが期待。

- 同構想の推進を通じて、ASEAN域内における各種計画へも貢献。

→ ICTマスタープランへの日本からの貢献策の一つとして、次回ASEAN情報通信大臣会合等に提案
→ 連結性マスタープランへの日本からの貢献策の一つとして、 //

重点3分野の今後の展開スケジュール



ASEAN スマートネットワーク（仮）の実現に向けて

ASEAN連結性マスタープラン及びASEAN ICT マスタープランに掲げられている主な目標

最先端のブロードバンド インフラの整備

ASEAN各国の戦略

【マレーシア】2015年までにブロードバンド世帯普及率を75%に拡大。

（「第10次マレーシア計画」(2010年6月)）

【タイ】ブロードバンドを2015年までに人口普及率80%、2020年までに同95%に拡大。ハブ都市は2020年までに最低100Mbpsの光ファイバを敷設。

（「国家ブロードバンド政策」(2010年11月)）

（「ICT2020」(2011年3月)）

【ベトナム】ほぼ全ての村へのブロードバンドの拡大。モバイルブロードバンドの人口普及率95%に拡大。

（「ICT加速化戦略」(2010年9月)）

新たなICT利活用の促進

ASEAN各国の戦略

【マレーシア】E-ラーニング、E-ヘルスケア、電子政府（「経済変革プログラム」(2010年9月原案)）

【タイ】教育、公共医療、防災、その他公共サービスのブロードバンドネットワークでの提供。国連の電子政府ランキングで上位1/3に。85%以上の国民が満足する電子政府を。

（「国家ブロードバンド政策」(2010年11月)）

（「ICT2020」(2011年3月)）

【ベトナム】国連の電子政府ランキングで上位1/3に。基本的公共サービスのオンラインでの提供。

（「ICT加速化戦略」(2010年9月)）

- ・ 経済成長へのICTの貢献
- ・ 自国ICT産業の育成
- ・ イノベーションの創出

ASEAN連結性マスタープラン（2010年ASEAN首脳会合で合意）:

2015年までのASEAN共同体実現に向けた連結性強化のためのプラン。ICTが実現のための重要なツールの一つとされている。

ASEAN ICT マスタープラン（2011年にASEAN情報通信大臣級会合で合意）:

ASEAN連結性マスタープランを踏まえ、2015年を目標年次とした域内のICTの発展を目的としたプラン。

ASEAN スマートネットワーク（仮）の実現に向けて

2015年におけるICTのトレンド・課題

【インフラ】

無線通信へのシフト
一層の高速・大容量化
ユーザの急激な増加
IPv6への円滑な移行
設備の有効活用
高信頼性の確保

セキュリティの確保
多機能化
デジタルディバイドの解消
M2Mの増加
GreenICT
人材育成
ICT産業の発展

【利活用】

多分野の融合
幅広い層への浸透
公的分野への展開
社会的課題の解決

主要な貢献分野

インフラ関係

クラウド

IPv6

情報
セキュリティ

超高速ブロードバンド
ネットワーク

利活用関係

グリーン
センサーNW

防災

電子行政

高速かつ多機能なICTインフラを用いて人と人・ものともものをつなぐ「スマートネットワーク」構築の早期実現に向け日本としても積極的に協力

→ ASEAN域内の ①経済の活性化 ②社会的課題の解決 ③コネクティビティ強化へ寄与